

6/17(日)、港区と連携して「みなと防災フェスタ」を六本木ヒルズで初開催 外国人にもわかりやすい「やさしい日本語」を用いて解説 4Dで災害疑似体験ができる最新鋭のVR 防災車も登場

森ビル株式会社は、六本木ヒルズで、港区と共催となる「みなと防災フェスタ」を6月17日(日)に初開催します。本イベントは、区民の約8%にあたる約2万人もの外国人が居住する港区エリア全体の防災力向上を目的として、全16種類の体験や展示コーナーを設置。港区国際防災ボランティア^(※1)による英語での解説に加えて、近年全国の自治体でも導入が始まっている「やさしい日本語」^(※2)を用いて、震災対策や防災に関する参加者の意識の向上と基礎知識の習得を推進します。また、2018年に運用開始されたばかりのヘッドマウントディスプレイを装着した、地震・火災・風水害の災害を疑似体験できる最新鋭の「VR 防災車」も登場します。

(※1) 港区国際防災ボランティアとは

外国人区民等への災害情報の提供及び円滑な支援体制整備を目的に、港区が募集する有事の際の通訳ボランティア。

(※2) 「やさしい日本語」とは

1995年の阪神・淡路大震災の際に、多くの外国人に対して避難所の場所などの情報が伝わらなかったことがきっかけとなって考案。

2011年に発生した東日本大震災でも改めて注目を集め、現在では災害時のみならず、平常時の行政からの情報発信にも採り入れられています。



最新鋭のVR 防災車



大地震発生時の状況を
座席の振動、水しぶき、熱、においなどで再現
©東京消防庁



六本木ヒルズの
防災機能を見学するツアー

<みなと防災フェスタ ご取材概要>

【日 時】2018年6月17日(日) 11:00~15:00 (メディア受付は10:30~)

【場 所】六本木ヒルズアリーナ

【内 容】災害時体験(VR 防災車、起震車、がれき救出訓練、けむり体験、バケツリレーなど)
防災知識習得(六本木ヒルズの防災機能見学ツアー、AED体験、初期消火体験など)

当社は、「逃げ出す街から逃げ込める街へ」をコンセプトに、引き続き、港区をはじめ、大使館や、インターナショナルスクールなどの近隣関係機関とも連携し、外国人にとっても安全・安心な街づくりを推進してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 山下、田部

TEL: 03-6406-6606 FAX: 03-6406-9306 E-mail: koho@mori.co.jp